



通常訪問研修を終えて②

高野小学校

研修主題 : 一人一人のよさを捉え、個を生かす授業

本校では、一人一人の児童の事実から児童のよさを捉え、個が生きる授業づくりを目指し、授業検討や日々の互見授業でその解明を図っています。通常訪問研修で明らかになったことや課題の一部を紹介します。

<明らかになったこと>

- ・個を生かす授業を進める上で、事前に一人一人の願いや思考を想定しながら単元構想案を作成した。どこでどのように考え、いつどのようなつまづきがあるのかを想定することは児童の主体的な学びにつながる。
- ・一人学習や自力解決等の時間を十分とることで、友達の意見を聞いてみたい、自分の考えと比べたいという思いが高まり、学び合いの充実につながる。
- ・指導者がねらいとするゴールを意識し、一人一人の思考を引き出し、つなげるなどの、教師のファシリテーターとしての力量を高めなければならない。



<残された課題>

- ・個を生かすためには、個の学びの進度の違いや何を選択して学ぶかが保証される必要がある。ICT を効果的に使ったり、個、ペア、グループといった学ぶ形態を児童に選択させたりするなど、個の学びに合った授業づくりを考えていく。
- ・学び合いを充実するためには、学習課題の吟味、設定の方法、提示のタイミングが重要である。もっと学びたい、分かるようになりたいという環境づくりを目指して児童の問題意識を高める導入を工夫する。
- ・児童が自分の活動状況を把握したり、身に付いたことを自覚できたりする振り返りをどのように仕組んでいくか工夫する。

当日は、多くの助言の中で、高野っ子たちの姿から授業改善への方向性を示していただきました。今後の研修にも生かしていきたいと思いました。

文責 教務主任 岩田 万里子

